

1人1人が自立へ向かって、光ろう！

573人がみんなで光れば、

発行 福井市灯明寺中学校
7月 18日

生徒指導部

令和6年度 第9号

灯中はさらに輝く

指導部通信

休暇中の心得

キヨウチヤウコロエ

大正十一年八月に宮櫻常小学校で配られたものです

いとようくわく 一灯點灯

【ありがとうの灯中
灯中つていいね⑤】



(7/15 福井新聞より)

かけもられてついに貢献する同校の絆プロジェクト」
歩道橋を清掃し交流
灯明寺中生と高齢者

生徒指導部より

☆いよいよ夏休みです。8月27日(火)の授業再開日まで、38日間あります。皆さんが安心安全に過ごし、全員が27日に元気な顔を見せてくれることを願っています。

☆7月1日(月)に福井警察署のスクールサポーターの先生を招いて、ひまわり教室を行いました。ネットによるいじめや犯罪、非行犯罪の危険性を学びました。生徒の感想を紹介します。

「高校生より、中学生のネットに関する犯罪被害者が多くなった」ということにも驚きました。高校生の方がネットに接触する人、時間、タイミングも多いはずなのに・・・これは中学生が危機感を持てていないことだと思います。(3年)

最近は自転車の盗難が増えていることを初めて知りました。遊びに行った時や買い物に行った時に自転車の鍵を抜き忘れることが分かりました。前科は消えないでの、自分がやっていることが大丈夫か見直していきます。(2年)

ネットの使い方について、私は大丈夫！だとは言い切れないと思った。13才といえど、大人の階段を登っている段階なので、自分の言ったこと、したことに責任を持つて、安易に人を傷つけないよう、第三者視点で自分のことを見てみようと考えた。(1年)

【先生のらくがき帳】 上の【休暇中の心得】はいかがでした

か。大正11年(1922年)ですから、今から100年ほど前のものですが、なかなか味わい深いです。みんなは部活動や習い事、4~7月の復習などなど...【心得】にあるように、どんな活動にも学びがあるので、いろんなことに目標を立てて取り組めるといいですね。

夏休みの第1週には、三者懇談(3年)保護者懇談会(1・2年)があります。「どんな話になるんだろう...」とちょっと不安かもしれません。

●お父さんからの手紙?

以前3年生に「三者懇談」のお題で一行詩を書いてもらったことがあります。これは、その作品の1つです。

・父は来ず はずかしながらの 二者懇談

・(その夜)母は言う 「やっぱりな。」

状況が分かりますか?三者懇談に来るはずのお父さんが、忘れて来なかつたことを一行詩にしてくれました(笑)。そうすると後日、なんとそのお父さんから「汚名挽回のアンサーソングを考えてみました」というお手紙をいただきました。これがアンサーソングです。

前夜、家内より「三者懇談」と「米つき」を頼まれました。

「米つき」はしっかりと覚えていたのですが・・・。

~我が子へ 心より陳謝の意味を込めて~

・米ついて 気づいた時が 3時過ぎ

・(その夜)妻に言う 「な、うまいやろ！」



お父さんからの手紙にはこんなことも書かれていました。

「三者懇談、大変失礼しました。子どもの一行詩、確かに我が家の一室が如実に表現されていると思います。

今、入試を控えて一番大切な時です。受験生の気が少しでも和めばと思いつつ、恥をさらしました。全員の合格をお祈りいたします。」

うれしいですねえ。家族も先生方も全員、みんなの応援団です。→△

●お母さんからの手紙？

次の手紙も読んでみてください。

自分の行きたい高校へ行ってね。そして、自分の好きなようにしてね。できる限り協力するし、口うるさくは言わない。

でも、自分のやりたいことをするには、それなりの苦労があることは知っておいてほしい。そしてそれを乗り越えていってね。

もしも苦しくて仕方がない時には、相談に乗るからね。

なんか「親の気持ち」をよく表していて、こういう手紙を読むと、先生も「自分の子どもたちに、何を、どう話をしてるかなー？」とちょっと考えてしまいます。それにしてもこの手紙、どんな方が書いたものでしょ？

実は、この手紙は中学3年生が書いたものです。先生が3年生の担任をしていました時に、こんな作文を書いてもらいました。

もし僕(私)が中学3年生の子を持つ親だったら
もし、あなたが中学3年生の子どもを持つ親だったら、今、我が子
にどんなことを一番言いたいですか? どんなことでもいいので、親に
なりきつたつもりで我が子にメッセージを送ってください。

☆別に勉強したくなかったらせんでもいい。自分でしたくないと思ったことをムリにしても頭に入らん。もしされで高校には入れ
んかったら、それは自分が勉強せんかったんだから自分でも納得できる。でも、本当に自分がしたこと、入りたい高校があ
るんなら、いつかきっと、自分から勉強せんとあかんって気付く時がくる。その時は絶対ヤル気が出る。自分がやろうと思って
やった勉強で入った高校や、つかんだ夢は、本当に心から「自分でできた」、「自分でつかんだ夢」と思えるから。その方が断然
うれしいと思えるよ。

☆言いたいことがあれば言ってみろ。

今度のテスト悪かったら覚悟してもらうぞ。

死ぬ気で頑張れよ。

自分の夢に向かって突っ走れよ。

俺は、お前を応援するぞ。

自分も英語は悪かった。だからそんなに落ち込むな。

悪いのは親のせいや。すまん。

☆もし、私が私の親なら「勉強しろ」とは

絶対言わない。

なぜなら、言われるとムカつくから。

無闇なフリして実は影から見守ってる

っていう親になりたい。

テスト前にそっと夜食をさし出すような。

【キビしいお母さん その1】

「おひた
万能 気 ベヤリばせ。」

【無責任なお父さん】

「革命をまこせ!
おれ、アレ いはせ。」

思わず笑ってしまうこともあります。ドキッとするものもあります。きっと今の自分をダブらせてるんだろうなあというのも
あります。「子どもたちの受験の時期」ということで、まわりの私たち(大人)の方が過敏になってしまって、何か大切なことを
ちょっと忘れてしまいがちなことを気づかされます。子どもたちに「何が大切なのか?」をかえって教わる気分にもなります。
以前、国立教育研究所の先生が話していましたことを思い出します。『親というのは【自分の子どもが心豊かに育ってほしい】という
理想を持っていると同時に、【いい学校に進学してもらいたい】という現実的な願いも持っている。この二つは対立している。そ
ういう矛盾したものを持っていますのが親だ』という話でした。

『矛盾したものが心の中にあるのがツイの親ですよ』ということを聞いて、自分も親として
なんだが安心しました。そして親や教師と同じように、子どもたちも矛盾した感情を持っています。
だからこそ、悩むし、先が見えない分、不安になる——そう思っていたいと思います。

「そのどちらかを否定する」と、すつきりするより、もう一方の気持ちを出せなくなつて
かえって不安をつのらせることになるかもしれないことを、教師としても親としても、
心にしつかりとめておきます。

だから安心して、ある時は鬼のように「勉強しなさい!」って叱ったり、ある時はうんと理想高く
「人間っていうのはこうじやないか」と話したりもできると思うのですが、どうでしょうか。



「なんとわかるよな いいひさいち より